

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

5FU+CDDP±放射線療法 <<初日に5日分調製>>

3週毎 2コース予定

頭頸部癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

			day1	day2	day3	day4	day5
フルオロウラシル	持続	3000 mg/m ² / 5日	↓			→
		[600 mg/m ² /日]					
シスプラチン		70 mg/m ²	↓				

【注意】 *一日の尿量が 3000 mL以上になるように化学療法前日より輸液を行うこと。

*シスプラチンはポンプを使用しないこと。

*シスプラチンは遮光のこと。

*フルオロウラシル持続はCVラインからの投与を考慮する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② ソルデム 3 A 500 mL 点滴静注120分(250 mL/時間)
- ③ day 1 - day 6
フルオロウラシル + 生食 1080 mL
側管より輸液ポンプにて点滴静注 約120時間(10 mL/時間)
- ④ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分(200 mL/時間)

5FU+CDDP±放射線療法<<初日に5日分調製>>

- ⑤ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注120分(240 mL/時間)

*生食200 mLをバッグから前もって抜いておく

- ⑥ 20%マンニトール 300 mL 点滴静注30分(600 mL/時間)

- ⑦ ソルデム 3 A 500 mL 点滴静注240分(125 mL/時間)

- ⑧ ソルデム 3 A 500 mL 点滴静注240分(125 mL/時間)

◎必要時追加

day 2 - 5

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)

- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

	1 コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
フルオロウラシル 開始時間	→	→	→	→	→
シスプラチン 開始時間	↓				
確認					

	2 コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月 日	/	/	/	/	/
フルオロウラシル 開始時間	→	→	→	→	→
シスプラチン 開始時間	↓				
確認					